

現役合格への 軌跡

共通テスト地理対策 懐かしの問題 第3回 小麦カレンダー

今回は 1996 度のセンター試験の問題を回顧してみましよう。小麦カレンダー問題を苦手としている人はいると思いますが、解き方さえ知ってしまえば、そんなに難しい問題が出題されるわけでもないので、安心して問題に向き合えると思います。ぜひやってみてください。

【問題】

次の図3中のa～dは、図1中の国①～④のうち、いずれかの国の小麦の収穫期を示したものである。aに該当する国を、図1中の国①～④のうちから一つ選べ。

[1996年 センター試験地理B 追試]

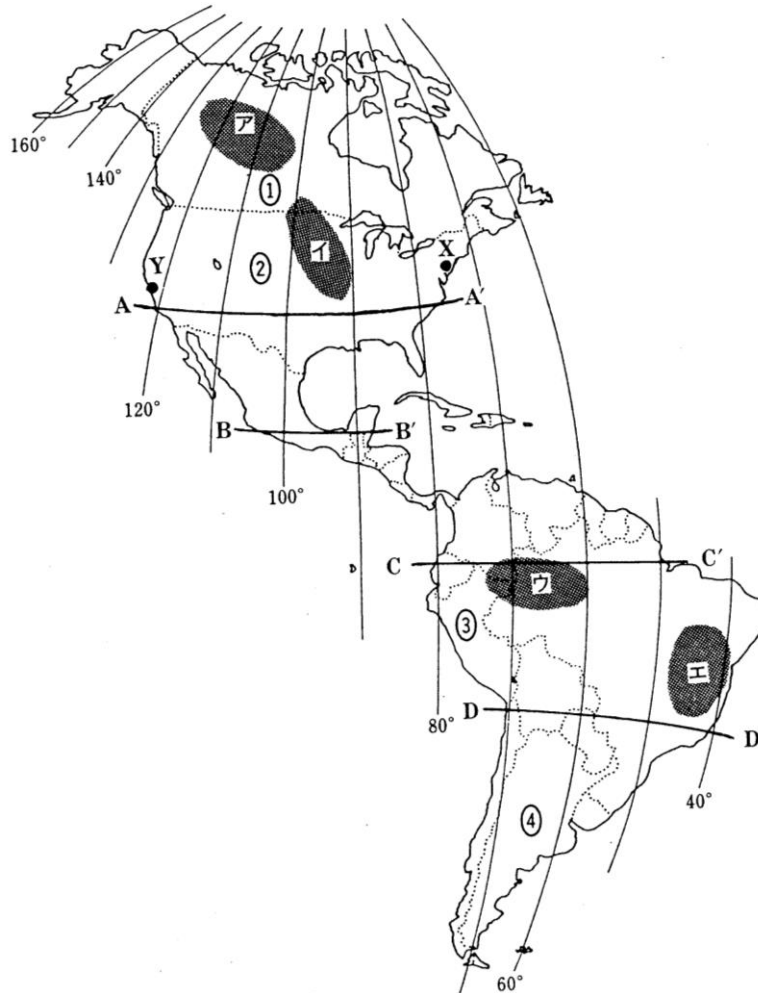


図 1

国	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
a		■	■										■
b							■	■	■	■			
c								■	■	■			
d												■	■

「作物体系2 麦類」ほかにより作成。

図 3

現役合格への 軌跡

【解答】

④

【解説】

小麦カレンダー問題は手を変え品を変え、様々な問題が出題されていますが、この問題はシンプルズベスト感がありますね。小麦カレンダーを解くために必要な知識を的確に使えるかの確認問題としては最適です。

まず小麦の特徴を理解しましょう。基本的に小麦には2種類あって、冬小麦と春小麦と言います。下にまとめておきます。

冬小麦：秋に種をまき、冬を越して翌年の夏に収穫する。

→ 一般的な小麦

春小麦：春に種をまき、同じ年の秋に収穫する。冬を越す必要がない。

→ 寒冷な地域で栽培

(ex.ロシア内陸部、中国内陸部、アメリカ合衆国北部
カナダなど)

以上が確認できれば、小麦カレンダーの考え方のポイントを3つ示しましょう。

- ①南半球に位置する国がある場合は、北半球の国の収穫期と逆になる傾向がある。
- ②国土に冬小麦地帯と春小麦地帯を2つ含む国は、両方の小麦の収穫期が合わさるため、長めの収穫期となる。
- ③赤道付近に位置する国では、小麦が冷涼な気候を好むため、夏を迎える前に収穫が終わる。

正直、この3つだけですべての小麦カレンダー問題は解けるはずですが。

今回の問題では、①がカナダ、②アメリカ合衆国、③ペルー、④アルゼンチンの4つが選択肢に挙がっています。bのグラフは、3か月と長期間の収穫期となっているため、国土に冬小麦地帯と春小麦地帯を含むアメリカ合衆国(②)と判断できます。cのグラフがbのグラフの収穫期とほぼ同時期なので、アメリカ合衆国と同じく北半球に位置するカナダ(①)となります。残るaとdが南半球に位置するペルーとアルゼンチンのどちらかに該当することになるわけですが、dの方の収穫期がやや早まっているため、赤道付近に位置し、暑さを避けていると考えて、dがペルー(③)、aがアルゼンチン(④)に該当します。